



世界分散投資戦略ファンド

愛称：グローバル・ビュー 5周年レポート



- ポイント**
1. 幾度となく荒波を乗り越え、基準価額は設定来最高値圏
 2. 値動きの異なる資産の組み合わせで、安定した値動きを追求
 3. コロナショックでの対応振り返りと、今後の運用方針

1. 幾度となく荒波を乗り越え、基準価額は設定来最高値圏

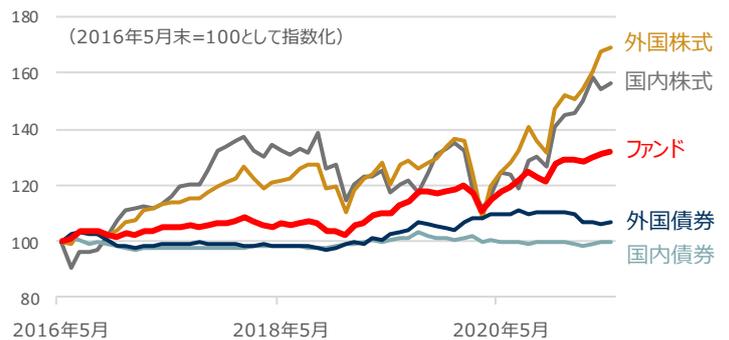
5年にわたり優れた運用効率を継続

当ファンドは、今年5月で設定から5年が経過しました。5年間の運用期間においては、2018年下旬に景気減速懸念が高まった局面や、昨年3月のコロナショックなど、株安と金利上昇(債券価格は下落)が同時発生し、「分散投資効果」が得られにくくバランス型ファンドにとって厳しい局面がありました。当ファンドは、一時的に下落する局面もみられたものの、いずれの局面からも回復し、足元の基準価額は設定来の最高値圏で推移しています。

当ファンドは「世界分散投資戦略ファンド」という名前の通り、世界の様々な資産への分散投資を行ないつつ、投資環境の変化に合わせて柔軟に資産配分を変更することで、お客様へ安定的なリターンの提供を目指して設定されました。こうした運用により、市場環境に関わらず着実にリターンを積み上げ、リスク1単位当たりのリターンの値は、主要資産を上回る魅力的な水準となりました。

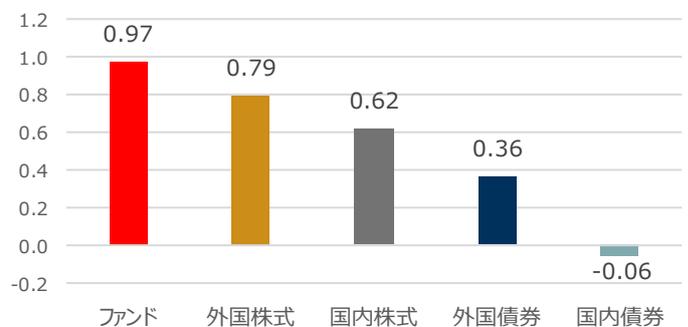
次頁では、設定来5年にわたり優れた運用効率を継続しつつ、安定的なリターンを生み出してきた当ファンドの運用手法についてもう少し詳しくご説明させていただきます。

ファンドと市場指数の推移



期間：2016年5月末（設定日2016年5月13日）～2021年5月末、月次
注：外国株式、国内株式、外国債券、国内債券については4ページをご参照ください。
ファンドは基準価額（分配金再投資）。基準価額（分配金再投資）については、4ページをご参照ください。
出所：ブルームバーグを基に、野村アセットマネジメント作成

運用効率（リターン/リスク）の比較



期間：2016年5月末（設定日2016年5月13日）～2021年5月末、月間リターンを基に算出
注：外国株式、国内株式、外国債券、国内債券については4ページをご参照ください。
出所：ブルームバーグを基に、野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

2. 値動きの異なる資産の組み合わせで、安定した値動きを追求

値動きの異なる資産を組み合わせる

分散投資とは、「複数の資産に投資をする」という意味ですが、ただ分散すればよいということではありません。異なる値動きをするものを組み合わせることで、全体としてのリスクを抑えた効果的な分散投資が可能となるのです。リスク低減効果は、右図のように投資する資産の値動きの関係（相関関係）によって変化します。

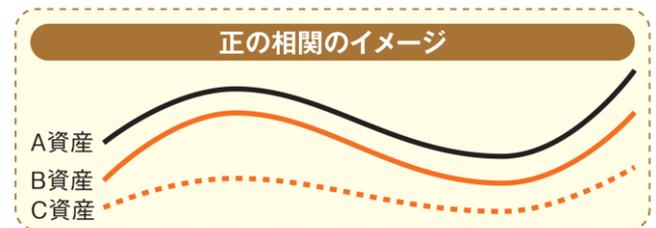
運用にあたっては、世界の様々な資産の動きを計量的なアプローチを用いて分析し、数十種類の資産の値動き（分散）、資産間の関係（相関）等を考慮して、最適な資産配分を計算します。過度にリスクを集中させないように分散投資を行なうことで、安定した値動きを追求しています。

投資環境に応じて柔軟に資産配分を調整

ファンドでは、資産の値動きの関係を意識した「分散投資」を行ないつつ、金融市場を動かしているテーマ（「景気」「物価」「各国の金融政策」など）に着目した資産配分の調整をします。例えば、「景気」が良くなると判断した場合には、株式を増やして債券を減らす、などです。各テーマに対して判断を行なった上で、そのテーマに関係の深い資産の配分を調整することによって、最適だと考える資産配分にその都度柔軟に変更してきました。

優れた運用成績が外部から好評価を頂く

上記の様な運用を行なった成果としての過去3年間（2021年3月末現在）の優れたパフォーマンスは、外部評価機関からも評価されました。（「R&Iファンド大賞2021」投資信託/バランス比率変動型(標準)部門で『優秀ファンド賞』受賞）



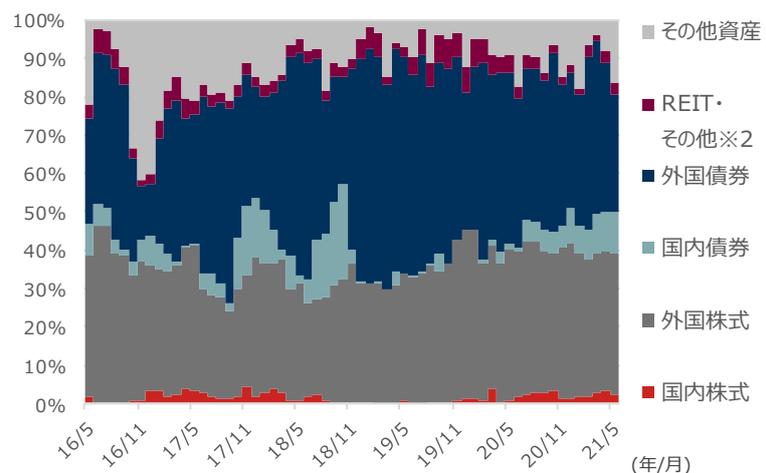
これらを組み合わせても、
リスク低減効果はあまり期待できません。



これらを組み合わせることで、
リスク低減効果が期待できます。

上記はイメージ図であり、全てを説明しているものではありません。

資産配分比率^{※1}の推移（純資産比）



期間：2016年5月末～2021年5月末、月次
上記はファンドが投資する野村ワールド・バランス・ストラテジーマザーファンドの実績です。
※1 先物・オプション・ETFを含みます。
※2 金、原油等
出所：野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

*後述の【投資リスク】【当資料について】および【お申込み】に際してのご留意事項を必ずご覧ください。

3. コロナショックでの対応振り返りと、今後の運用方針

株式の配分を機動的に変更

コロナショック時の当ファンドの対応を振り返ってみますと、株式が大きく下落する局面で機動的に株式の配分を減らしたことによって、下落幅を比較的抑えることが出来たと考えています。2019年より景気減速に伴い株価の上値が重いことを想定していたことに加え、2020年初来の市場の動きから株式よりも債券が魅力的であると判断していたためです。

その後は、各国の強力な金融緩和政策や財政政策によって景気が持ち直すと判断したことから、再び株式の投資比率を増やしその後の株式の上昇を享受することが出来たと考えています。その結果、2020年の運用実績は+8.7%となりました。

金利上昇リスクにも柔軟に対応

またファンドでは、金利動向を踏まえて『金利リスクの調整』を柔軟に行なうことで安定的なリターンの獲得を目指しています。金利上昇は債券投資において獲得できる金利収入の水準が高くなるという観点でプラスに働きますが、一方で債券価格の下落という観点でマイナスに働きます。

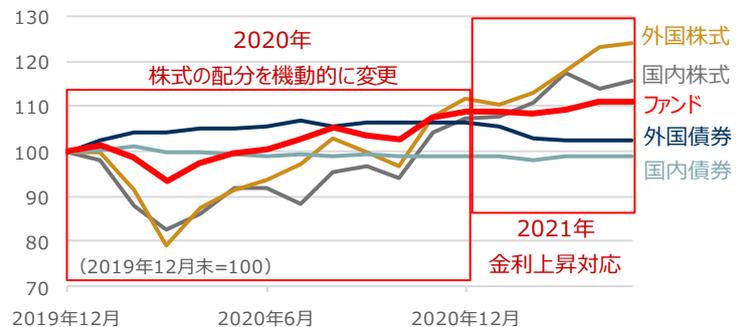
2021年年初より経済正常化やインフレ懸念から米国を中心に金利が上昇しましたが、ファンドでは金利上昇を警戒して海外債券のデュレーションを1年前に比べて縮小させていたため、金利上昇によるダメージを抑制することが出来たと考えています。

今後の金利上昇が意識される中で

世界経済が正常化に向かう過程で金融環境の変化が想定されますが、ファンドでは資産配分やデュレーションの機動的な変更で対応することで、今後もリスクを抑えつつ安定的なリターンの創出を目指してまいります。

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

ファンドと市場指数の推移

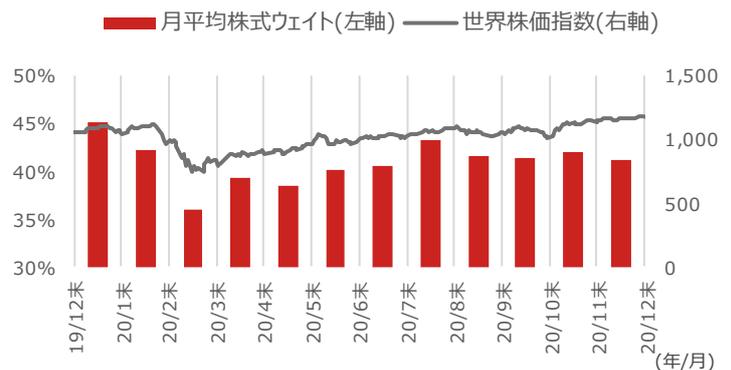


期間：2019年12月末～2021年5月末、月次

注：外国株式、国内株式、外国債券、国内債券については4ページをご参照ください。ファンドは基準価額（分配金再投資）。基準価額（分配金再投資）については、4ページをご参照ください。

出所：ブルームバーグを基に、野村アセットマネジメント作成

株式ウェイトの推移と株価指数



期間：(指数) 2019年12月末～2020年12月末、日次

(株式ウェイト) 2020年1月～2020年12月、月次

上記はファンドが投資する野村ワールド・バランス・ストラテジーマザーファンドの実績です。

月平均株式ウェイト：各月のファンド営業日の株式ウェイト(外国株式+国内株式)の平均

世界株価指数：MSCI ACWI gross return JPY index

出所：ブルームバーグを基に、野村アセットマネジメント作成

債券デュレーション※と米10年国債利回り



期間：(利回り) 2019年12月末～2021年5月末、日次

(債券デュレーション) 2020年1月～2021年5月、月次

上記はファンドが投資する野村ワールド・バランス・ストラテジーマザーファンドの実績です。

月平均海外債券デュレーション：各月のファンド営業日の海外債券デュレーションの平均

米10年国債利回り：ブルームバーグ・ジェネリック米国10年国債利回り

※デュレーションとは、主に金利がある一定の割合で変動した場合に、債券価格がどの程度変動するかを示す指標

出所：ブルームバーグを基に、野村アセットマネジメント作成

「世界分散投資戦略ファンド 愛称：グローバル・ビュー」

ファンドの運用状況

基準価額の推移

期間：2016年5月13日（設定日）～2021年6月15日、日次



基準価額（分配金再投資）とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

<当資料で使用した指数について>

国内株式：東証株価指数(TOPIX)

外国株式：MSCI KOKUSAI index 円ヘッジ

国内債券：NOMURA-BPI 国債

外国債券：FTSE世界国債インデックス（除く日本円ヘッジ）

<当資料で使用した指数の著作権等について>

- TOPIXの指数値及びTOPIXの商標は、株式会社東京証券取引所（以下「東証」といいます。）の知的財産であり、株価指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利及びTOPIXの商標に関するすべての権利は東証が有します。東証は本ファンドの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。
- MSCI指数は、MSCIが独占的に所有しています。MSCI及びMSCI指数は、MSCI及びその関係会社のサービスマークであり、野村アセットマネジメント株式会社は特定の目的のためにその使用を許諾されています。ここに記載されたいかなるファンドも、MSCI、MSCIの関連会社及びMSCI指数の作成または編集に関与あるいは関係したその他の当事者のいかなる者もその合法性および適合性に関して判断したのではなく、また、これを発行、後援、推奨、販売、運用または宣伝するものでもなく、ここに記載されたいかなるファンドに関していかなる保証も行わず、いかなる責任も負いません。請求目論見書には、MSCIが野村アセットマネジメント株式会社およびその関連するファンドと有する限定的な関係について、より詳細な記述があります。
- NOMURA-BPIに関する一切の知的財産権その他一切の権利は野村証券株式会社に帰属しております。また、野村証券株式会社は、ファンドの運用成果に関して一切の責任を負うものではありません。
- FTSE世界国債インデックス（除く日本円ヘッジ）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

「世界分散投資戦略ファンド 愛称：グローバル・ビュー」

【ファンドの特色】

- 信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。
- 内外^{※1}の短期有価証券および上場投資信託証券等の現物有価証券^{※2}を実質的な主要投資対象^{※3}とし、世界各国^{※1}の株価指数先物取引、債券先物取引等の有価証券先物取引等および為替予約取引等を実質的な主要取引対象^{※3}とします。
 - ※1 新興国を含みます。
 - ※2 当面は、内外の株式、債券、不動産投資信託証券(REIT)、商品等を対象とする上場投資信託証券(ETF)および内外の公社債に投資を行ないます。
 - ※3 「実質的な主要投資(取引)対象」とは、「野村ワールド・バランス・ストラテジー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資(取引)対象という意味です。
- 運用にあたっては、世界の様々な指標の動きを計量的なアプローチを用いて分析し、定性的な判断を加え、リターンを追求するポートフォリオ^{※1}を構築することを基本とします。ポートフォリオの構築にあたっては、リスク水準^{※2}にも配慮します。なお、ポートフォリオについては適宜見直しを行ないます。
 - ※1 各資産への配分比率については、定量分析・定性判断をもとに中長期的な観点から決定し、投資方針および投資制限の範囲内で変化させます。
 - ※2 リスク水準とは、対象資産における推定される価格変動の大きさのことです。
- 上場投資信託証券その他現物有価証券に投資を行なうとともに、株価指数先物取引、債券先物取引等の有価証券先物取引等および為替予約取引等を活用します。現物有価証券への投資ならびに有価証券先物取引等および為替予約取引等の活用にあたっては、世界各国の株式・債券・不動産投資信託証券(REIT)・商品・通貨等を対象とし、複数のロング・ポジションとショート・ポジションを組み合わせます。
- 現物有価証券(内外の短期有価証券を除きます。)への投資および有価証券先物取引等の買い建てによるロング・ポジションの合計と有価証券先物取引等の売り建てによるショート・ポジションの合計との差額(ネット・ポジション)は、原則として信託財産の純資産総額の0%~100%の範囲内とします。
- 為替予約取引等の使用については、外貨建資産の為替変動リスクを回避する目的(ヘッジ目的。代替ヘッジを含みます。)のほか、効率的に収益を追求する目的(ヘッジ目的外)で活用します。
 - ◆ 為替予約取引等のヘッジ目的外での使用については、買予約の合計額と売予約の合計額との差額につき円換算した額はマザーファンドの信託財産の純資産総額の100%以内とします。
- ファンドは「野村ワールド・バランス・ストラテジー マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- 原則、毎年1月および7月の21日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。
 - 分配金額は、分配対象額の範囲内で、利子・配当等収益等の水準および基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。
 - * 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

「世界分散投資戦略ファンド 愛称：グローバル・ビュー」

【投資リスク】

ファンドは、株式、債券およびREIT（不動産投資信託証券）等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落、金利変動等による組入債券の価格下落、組入REITの価格下落や、組入株式の発行会社、組入債券の発行体および組入REITの倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※ファンドの基準価額の変動要因には、この他にも、商品（コモディティ）市況変動リスク、代替手法に関するリスク、取引先リスクなどがあります。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 2026年1月21日まで(2016年5月13日設定)
- 決算日および収益分配 年2回の決算時(原則、毎年1月および7月の21日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1万口以上1口単位(当初元本1口=1円) または1万円以上1円単位
※ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、申込日当日が、下記のいずれかの休業日に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金の各お申込みができません。
・ロンドン証券取引所 ・ニューヨーク証券取引所
・ロンドンの銀行 ・ニューヨークの銀行
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

(2021年6月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に2.2%(税抜2.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 ※詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年2.035%(税抜年1.85%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 *ファンドが実質的に投資対象とする上場投資信託証券は市場の需給により価格形成されるため、その費用は表示していません。
◆その他の費用・手数料	組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時)	ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に依りて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

《分配金に関する留意点》

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりりが小さかった場合も同様です。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会：一般社団法人投資信託協会/
一般社団法人日本投資顧問業協会/
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：野村アセットマネジメント株式会社

●サポートダイヤル ☎ 0120-753104 <受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ

<http://www.nomura-am.co.jp/>



【当資料について】

- 当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

【お申込みに際してのご留意事項】

- ファンドは、元金が保証されているものではありません。
- ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- 投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- 投資信託は預金保険の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。
- お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

世界分散投資戦略ファンド

愛称:グローバル・ビュー

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社筑波銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第44号	○			
株式会社大垣共立銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第3号	○		○	
株式会社中京銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第17号	○			
OKB証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第191号	○			

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。